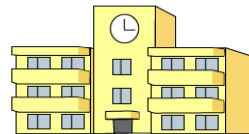




Do you know? 私立高校 編



look here!!
注目 その1



公立高校にない魅力

私立高校は、文部科学省が定める学習指導要領に沿った標準的な教育が行われているだけでなく、学校独自の特色ある方針や建学の精神に基づいた教育も行われています。

- ① 併設大学への優先入学
- ② 男女別学や共学の教育
- ③ キリスト教、仏教、神道などの宗教教育
- ④ 充実した施設・整備
- ⑥ 役立つ実務家の養成をめざす専門教育
- ⑦ 将来の大学進学に向けた意識付けと実力養成
- ⑧ 特待生制度（入学金・授業料の全額または一部の免除等）
- ⑨ コースによっては、0限目や7限目授業、土曜授業、夏期講習、冬期講習など塾に通う必要のないカリキュラムが組まれている。

蔵書1万冊以上の図書館や
グランド人工芝ある高校



毎日、礼拝で始まる
高校もあるよ。



7時間目までの授業が週4回あり、土曜日にも授業がある高校

月・火・木・金曜日	
登校	8:30
読書・10分テスト	8:35~8:45
第1時限	8:55~9:45
第2時限	9:55~10:45
第3時限	10:55~11:45
第4時限	11:55~12:45
昼食	12:45~13:25
第5時限	13:30~14:20
第6時限	14:30~15:20
第7時限	15:30~16:20
SHR	16:20~16:30
清掃	16:30~16:45
10分テスト補習	16:50~17:40

look here!!
注目 その2



専願者に有利なテスト



私立高校の受験形態には、「専願」と「併願」の2パターンがあります。

	専願	併願
内容	合格すれば、必ずその高校に入学することを約束して受験します。	合格発表後に、入学するかしないかを判断する余地が残されている受験です。よって、公立高校を第1志望としている生徒は一般的にこの形態で受験します。
合格基準点	併願受験より低い。	専願受験より高い。



look here!!
注目 その3



気になる学費



授業料は平均58万円ですが、国の「高校等就学支援金制度」と大阪府の「私立高校等授業料支援補助金制度」（現行制度）により、**授業料の負担額は、年収のめやすが590万円未満の世帯では実質0円（無償）、800万円未満の世帯では20万円**となります。

その他の費用として、**入学金（平均約20万円）、教科書代、制服・体操服代、修学旅行積立金が必要**です。また、学校によっては教育充実（施設充実）費、任意による寄附金等が必要になる場合があります。ある試算では、3年間で公立高校との差額は、およそ30万円位（1月1万円弱）で、施設の充実や平日7時間授業や土曜授業など授業時数などを考えれば、とてもお得という考え方もあります。



私立高校支援補助金継続



大阪府の私立高校等授業料支援補助金制度は、**平成30年度の入学者（現9年生）まで継続**する方針が示されています。主な変更内容は、「対象世帯の**年収上限を20万円引き下げ、590万円未満に見直すこと**」や「**子どもが多い世帯に配慮し、3人以上いる世帯を優遇すること**」です。支援補助金は卒業までの3年間、受けられます。

私立高校授業料の保護者負担の状況

年収	平成29年度入学生		（*）は私立高校に3人以上通わせている場合（大学や浪人生についても人数に含める。）
	590万円未満	無料	
590万円以上	800万円未満	20万円負担（*10万円負担）	
	800万円以上	府の補助なし	
910万円未満	910万円未満	約46万負担（*20万円負担）	
	910万円以上	全額負担	